

# 教育最前線

連載 26

●セーフティ・フェスティバル in 富山

## 四輪販売会社と自動車教習所が連携 地域の方々に交通安全への理解を深めてもらう



教習所では全国有数のスキッドコースを使って、ABS（アンチロック・ブレーキ・システム）の効果を体験

富山県ホンダ会で総務委員長を務めるホンダカーズ高岡中央取締役営業本部長の秋知秀治さんはフェスティバルを企画した背景を次のように語る。「富山県ホンダ会として今年度、社会貢献活動を進めるにあたり、「交通安全」をテーマに掲げています。私たちが四輪販売会社の店頭では、日頃



Honda Cars 高岡中央取締役営業本部長の秋知秀治さん

秋の全国交通安全運動期間中の9月23日、富山自動車学校（富山県富山市）で「セーフティ・フェスティバル in 富山（以下、フェスティバル）」が開催された。これは、富山自動車学校と富山県ホンダ会（富山県内にあるホンダの四輪販売会社で構成する組織、および本田技研工業（株）安全運転普及本部の共催によるイベントで、富山県警察本部と日本自動車連盟富山支部が後援している。当日は子どもから高齢者まで約600名が来場し、交通安全に関連した数々のイベントを楽しみ、理解を深めてもらった。

### ポイント①

県内の四輪販売会社が  
一丸となった社会貢献活動

### 「セーフティ・フェスティバル in 富山」の内容

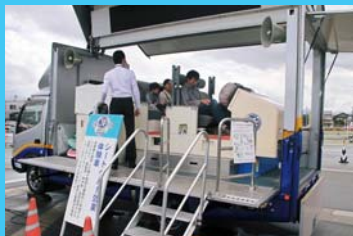


運転席からは見えない範囲を確認してもらう死角体験

酒酔いゴーグルを使った飲酒疑似体験



Honda セーフティナビを使って、来場者が燃費を競うエコドライブコンテスト



シートベルトコンビンサーで5km/hからの模擬衝突を体験



Honda 自転車シミュレーター安全教室では、子どもに自転車の安全な乗り方を指導



富山県警の白バイ隊員によるデモンストラーション

※Honda セーフティナビ・Honda 自転車シミュレーターの詳細については、以下のホームページを参照。<http://www.honda.co.jp/safetyinfo/development/>

から各拠点でセーフティコーデイネーターを通じて安全テドバイスを行っています。県全体としての取組みを考えた時、お客様だけでなく、地域の皆さんにも楽しんでいただける交通安全のイベントが最適だと考えました。富山自動車学校にも協力をお願いし、快く引き受けていただきました。イベント内容は富山自動車学校、ホンダ、私たちの三者がアイデアを出し合い、作り上げました。

このフェスティバルには、富山県ホンダ会に所属する8法人29拠点から44名のセーフティコーデイネーターが運営に関わったという。「今回は、富山県警察本部や日本自動車連盟富山支部にも支援をいただき、まさに地域ぐるみのイベントになりました。そして、多くの方々に、ホンダの交通安全への取組みに共感していただけたと思います。」

### ポイント②

地域の交通安全教育センターとしての役割を果たす



富山自動車学校校長の平井信一校長

富山自動車学校の平井信一校長は、「私たち自動車教習所は地域の交通安全教育センターとしての役割を求められています。富山県ホンダ会の活動に協力することは、その役割を果たすことにつながると考え、協力しました」と話す。富山自動車学校でも年に1回イベントを開催しているが、その主な対象は卒業生であった。「スキッドコース（すべりやすい悪条件の路面を再現したコース）などの施設を、地域の多くの皆さんに利用していただくのは、今回が初めてです。また、富山県ホンダ会と連携したことで、来場者に豊富なイベント内容を提供することができました。さらに、四輪販売会社のセーフティコーデイネーターの皆さんと、私たち教習指導員と一緒に取り組んだことは、お互いの指導力の向上にもつながるはず」と、平井校長は富山県ホンダ会との連携を評価する。

### ポイント③

家族で楽しみながら体験できるイベント内容

### ●バイクであいたいパレード 鈴鹿から「交通安全」「マナーアップ」の発信

毎年、三重県鈴鹿サーキットで開催されている「鈴鹿8時間耐久ロードレース」の前夜祭イベントとして、鈴鹿商工会議所青年部では「バイクであいたいパレード」を実施している。これは全国各地から集まった約500台のバイクが鈴鹿市内7.5kmを走行する日本最大級の交通安全パレードで、モータースポーツ都市「鈴鹿」の魅力を発信し、「交通安全」「マナーアップ」の啓発活動を推進することを目的としている。



鈴鹿製作所インストラクター。写真左から、清水仁さん、並河知宏さん、森中豊蔵さん、大野君弘さん、前田芳人さん

13回目となる今年は7月30日に行われ、本田技研工業（株）鈴鹿製作所インストラクターの5名がパレードの先導を務めた。

### NEWS REVIEW

#### ●熊本県二輪車安全普及協会グッドライダーミーティング 高齢のライダーを対象にした安全運転講習会



「グッドライダーミーティング」は各都道府県の二輪車安全普及協会（以下、二普協）が主催する講習会で、安全な二輪車の利用を促進するために、全ての二輪車運転者の安全運転技能の向上や交通法規・マナーの遵守等を目的としている。

熊本県二普協では9月18日、大洋第二自動車学校（熊本県玉名市）で、日頃からバイクを運転している高齢ライダー21名（65～83歳）を対象にしたグッドライダーミーティングが行われた。

開講式では、熊本県二普協の鳥井史朗会長、熊本県警察本部交通企画課交通事故防止総合対策室の原田聖哉室長補佐をはじめ、関係者が挨拶。

続いて、本田技研工業（株）安全運転普及本部熊本普及ブロックのインストラクターによる座学。熊本県内における高齢者の二輪車事故の特徴として、交差点での出会い頭事故が多いこと、違反別では一時不停止が多いことなどを挙げた。そして、Honda ライディングトレーナー※による危険予測トレーニングが行われた。

その後、屋外のコースで（財）全日本交通安全協会二輪車安全運転推進委員会特別指導員が、信号交差点での



右折や、見通しの悪い交差点での一時停止と安全確認の模範を参加者に見せた。あいにく、当日は台風15号接近の影響で実技指導は中止となった。

熊本県警察本部の原田室長補佐は「二輪車の場合は、事故を起こしたら身体へのダメージが大きいので、こうした高齢者への安全運転教育の機会が重要です」という。二輪車安全運転推進委員会特別指導員の島田隆任さんは「実技が中止になって残念でしたが、参加者の皆さんに止まって確認するなど、基本的なことを理解してもらえよう心がけました」と語った。

※Honda ライディングトレーナー＝ライダーの危険予測能力を高めることを目的に、Hondaが開発した二輪車安全運転教育機器。運転診断機能によるアドバイスなど、効果的な安全教育を行うことができる。

